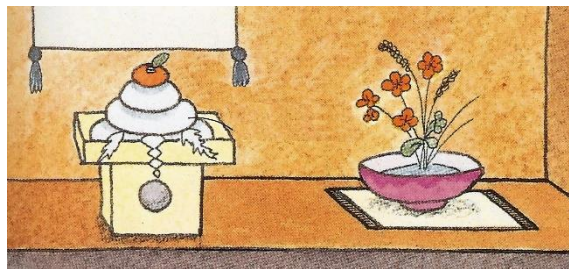


ぼ〜ぐなん広場(99)



ぼ〜ぐなん広場にお立ち寄りの皆様

明けましておめでとうございます

令和となって、初めての越年、
皆様、ますますお元気にご活躍の年となりますようお祈りいたします。

小学校英語にとっては、特別のお年越し、今年4月からは「教科」として、子どもたちが英語を学びます。現場には、まだいろいろ未解決の課題があるかもしれませんが、私たちは子どもたちの学びに向かうエネルギーに負けず、一つずつ課題を克服するために頑張らしましょう。

Let's Try! と We Can! を使いながら過ごした移行措置期間も終わりに近づいています。この一年を振り返ると、ぼ〜ぐなんでも、いろいろなことがありました。その中で、大きな出来事は、English in Action Online を公立小学校でも使っていただく、という実験の2年目に入り、一人ひとりの使用状況を把握するための「学習履歴」を5月に導入したことでした。いつ、だれが、どのテキストの、どのレッスンを、どのスライドまで使っているか、繰り返し何回、どのくらいの時間を使って復習をしているか、が分かるようになりました。タブレットの普及で、子どもの自学自習を追跡し、励まし、指導に役立てることができるのです。

指導される先生方がこの学習履歴を利用されると、子どもたちがOnlineに繰り返し入り込んで、どのくらいの時間そこで練習をしているのか分かります。勿論、スライドはゲーム感覚のものが多いので、どれを面白がっているかも手に取るようにわかります。個々の使用状況が分かれば、次の授業でその様子を見取りながら、おお、なるほど！上手になっているな、と次のアドバイスを与えることもできます。

この実験は、まだまだスタートを切ったばかりで、Let's Try! や We Can! のUnitで扱われる表現の理解をサポートするために、English in Actionのレッスンとの合わせ技で授業に活用していただくようにお勧めしています。英文ごとに音声埋め込まれており、そのイラストにも音声埋め込まれているので、子どもたちは自分で意味をチェックできます。このOnlineはPCやタブレットがあれば個人学習には最適なので、これからの伸展を楽しみにしています。

お試し版(無料)に、是非お立ち寄りください。 [こちら](#)

操作方法は、 [こちら](#)

もう一つ、2017年以來、「やり甲斐のあるやり取り」を授業で大事にしたい、と心がけてきましたが、小学校現場で授業参観をさせていただいたり、授業記録のDVDを拝見したりしながら、先生方が子どもたちに寄り添いながらご指導されている様子を、たくさん学ばせていただきました。授業研究がなければ、私たちの進歩はあり得ない、と身の引き締まる思いをしています。この機会をお与えくださった諸先生方、関係者の先生方に、改めて感謝申し上げます。

そこで学んだことは、授業はあいさつの瞬間から最後まで、「やり取り」で始まり、「やり取り」で終わる、ということでした。その「やり取り」が子どもの心を捉え、“聞きたい！”“あ、分かった、言いたいことがあるよ！”と思わず英語が（間に合わなくて、ひと言日本語になったりして）口から飛び出してくるその瞬間の言葉をつないで「やり取り」が弾んでいくことが、子どもにとって「主体的なかかわり」であり「深い学び」となり、英語を使う力になっていくのだ、と改めて確認しました。

子どもが日頃思いついたり考えたりすることを適切な語彙で表現している文例が並んでいるテキストを見せておきたい、その英文を聞いて読めるようになると、今度は子どもが既に蓄えている単語を自分で入れ替えて新しい文を作って表現することにつながっていくでしょう。そして、全く新しい情報を英語で聞いても、たじろがずに聞き続けていく力が育っていくのだと思いました。

この授業観察については、この前お伝えした飛騨地区での調査研究が続いており、2019年度のデータを3、4月に分析し、3年間続いた研究の報告を纏めます。（この調査は、2011年から開始しており、逐年の報告は、2013年のものから、日本英語検定協会のホーム・ページにアップしていただいております。[リンク](#)）

各地域で検定教科書が決まり、新しい年間計画や授業案の作成が始まっていると思います。2020年度がどんな年になり、どんな実践が始まるのか、とても楽しみです。私たちも、情報交換の場を確保して、研修セミナーやワークショップを続けていこうと計画しています。ぼーぐなんのHPをご利用いただき、研究会情報や出版物などをチェックしてくださいませ。その催しで直接お目にかかれますのを楽しみにしております。

何か新しいことが起こりそうな2020年、子どもたち、学生たち、そしてご指導にあたられている先生方との出会いのたびに、少しでも学びを深めていくことができますように、と願っております。

どうぞよろしく願い申し上げます。

久埜 百合

2020.1.1.

■[現在までに掲載済みの「ぼーぐなん広場」リスト](#)

■[「えいごリアン・コーナー」](#)

■[研修・セミナーのご案内](#)

■[久埜百合著教材のホームページ](#)